



全 高.....	1,300 mm
清 掃 幅.....	1,020 mm
走 行 速 度.....	10 km/h
自 重.....	450 kg

東洋工業株式会社納 3t ぶ頭クレーン

今回日立製作所が東洋工業株式会社、名古屋ぶ頭に据え付けを完了した3t ぶ頭クレーンは同社より受注作製中の5台の同形機中の1号機で、もっぱらマツダターボおよび3輪トラックの陸揚浮に使用されるものである。

本機は現在各所港湾の雑貨ぶ頭に使用されはじめている最新形のぶ頭クレーンで次のような特長を有している。

- (1) 走行引込形なので荷役能率が高くまた後部半径が小さいのでぶ頭用として最適である。
- (2) 鉄骨部分は薄鋼板溶接構造で軽量化され風圧が少なく腐食が少ない。また塗装も容易である。
- (3) 接合部分が少ないので組み立て据え付けが容易である。
- (4) 旋回体支持に大形ボールベアリングを使用しているため保守が容易でありまた後部半径も小さくなっている。

おもな仕様

形 式.....	LT-DH フック付走行引込クレーン
巻上荷重.....	3t
旋回半径.....	最大 15m 最小 7.1m
リフト.....	レール面上 10m 面下 5m
スパン.....	4.5m
巻上速度.....	50 m/min 40 kW
引込速度.....	40 m/min 7.5 kW
旋回速度.....	1.5 rpm 7.5 kW
走行速度.....	30 m/min 7.5 kW×2
走行レール.....	37 kg/m レール
電 源.....	AC 220 V 60 c/s(ケーブル給電)

残響音専用別に二つのスピーカを使った

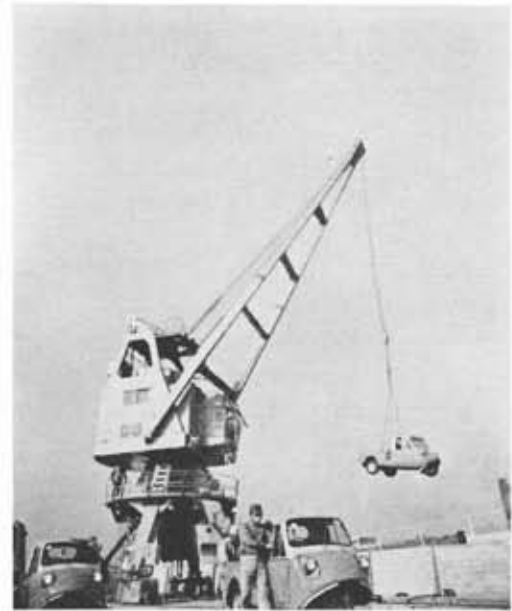
独特の「残響装置」

日立のステレオ・シンフォニカ DPS-1059 発売

最近残響を付加したステレオが人気を呼んでいるが、このほど日立製作所ではいままでの方式とまったく異なった日立製作所独自の



第9図 シンフォニカ DPS-1059



第8図 3t ぶ 頭 ク レ ー ン

設計による新しい残響装置を完成し、それを組込んだ第1弾として日立のステレオ・シンフォニカ DPS-1059 を発売した。

この新方式の独特の残響装置とは、今までのものが直接音と残響音を、一つのスピーカを使って出す「混合方式」であるのに対して、新方式では直接音と残響音をそれぞれ完全に分離して再生する「分割方式」になっているもので、その最大の特長は、音質とステレオ感をそこなうことなく、残響の効果をハッキリ得られる点である。

特 長

- (1) いままでのステレオの左右の音の動きに、新しい音の「奥行き」をプラスした、日立独特の残響装置のはたらきで、コンサートホールそのままの臨場感を味わうことができる。
- (2) さらに残響つまみを回すことによって0~2.5秒の間の残響を加減でき、その残響のかかりぐあいをひと目でわかる独特の残響インジケータ(実用新案出願中)がついている。
- (3) 大形の20cmスピーカ(直接音用)を2個と、16cmスピーカ(残響音用)2個を組み合わせた「4スピーカ・システム」で生きたハイファイ音を聞くことができる。
- (4) どんなに音を小さくしほっても、音のバランスがくずれない「ラウドネス・コントロール(聴覚補正)」方式のはたらきで、音量の大小に関係なく迫力のある演奏が楽しめる。
- (5) 出力回路には、ハイファイ専用の日立高出力真空管「6BQ5」を3本(1本は残響音専用)も使用しているため、出力は4.5W×3(残響音用とも)という最大出力で、広いホールでも十分な豊かな音量を出すことができる。
- (6) アンテナなしで雑音なく高感度な受信ができる「フェライトアンテナ」を内蔵している。
- (7) 再生周波数帯域幅70~15,000サイクルの広帯域再生のタリスタル・ビッタップを使用しているため、原音により忠実なレコード演奏ができる。
- (8) 左右の2つのチャンネルが一つのダイヤで同時に調節できる「ワンコントロール式」で取扱いがらくにできる。
- (9) テープレコーダーやFMチューナーをかんとにつなげる便利な接続端子つき、しかもトランス式であるから絶縁トランスを必要としない。
- (10) 電源は「ワンタッチ・スイッチ」で、音量や音質の調節ダイヤに関係なく点滅できる。
- (11) キャビネットは、前面パネル部に高級な木根の目をそのまま生かした豪華なデザインで、家具としてのグレースさだけでなく音響効果の点でもすぐれたものである。

規 格

10球2バンドステレオラジオ SG-1059

受信周波数帯.....	短波放送 3.8~12 Mc
	標準放送 535~1,605 kc
使用真空管.....	6 BE 6×2, 6 BA 6×2, 6 AV 6×2
	12 AX 7×1, 6 BQ 5×3
ダイオードおよびシリコンダイオード.....	1 N 34 A×2, 1HR-25×4
出力.....	無歪 3.5 W×2 最大 4.5 W×2
残響出力.....	無歪 3.5 W(2スピーカー)
	最大 4.5 W(2スピーカー)
消費電力.....	約 100 W
スピーカー.....	日立 20 cm PM スピーカ 2個
	日立 16 cm PM スピーカ 2個
大きさ.....	幅 121 cm 高さ 74 cm 奥行 36 cm
重さ.....	31.4 kg

4スピードステレオレコードプレーヤ DPU-1059

ピッチアップ.....	クリスタルターンオーバー
	サファイヤ針つき 針圧 7 g
使用針.....	HN-SP 1.....SP用
	HN-ST 2.....LP, ST用
モーター.....	2極インダクションモーター
	(マグネチックレギュレータつき)
ターンテーブル.....	20 cm ゴムカバーつき
消費電力.....	約 9.5 W
大きさ.....	幅 37.5 cm 高さ 11 cm 奥行 25.2 cm
重さ.....	2.4 kg

価 格

ラジオ・プレーヤ	現金正価 53,800 円
2点組合わせ	月賦正価 56,900 円(12ヵ月払い)

段ボールケース封かん機“日立ステーブラ”発売

段ボールケースのふた止めは、従来ガムテープや粘着テープまたはひもかけ式で行なっていたが、段ボールケースが大量生産商品のこん包として使用される場合が多く、さらに能率的な封かん方法が要望されていた。

日立ステーブラはこれらの封かん方法より一段と能率的で中に商品を入れたままステーブルと呼ぶカシガイ状の針を使ってふたをとじる段ボールケース封かん機である。能率的であるばかりではなく、材料費も安く、その上強いこん包にできるのであらゆる段ボールケースの封かん用として好適の製品である。

今回発売したのは圧縮空気を動力とするエアーステーブラと手でハンドル操作によって封かんするハンドステーブラの二種である。エアーステーブラは200~400W程度の小形コンプレッサで十分使用でき、日立が販売しているスーパーベピコンやベピコンとの組合せで能率的作業ができ、ハンドステーブラは軽量で持運びに便利どこでも使用できる。

いづれも取扱いはいたって簡単、婦女子でも十分使用可能である。

それぞれの能力は通常の作業でミカン箱程度の大きさの段ボールケースを一時間にエアーステーブラは200~250個、ハンドステーブラで100~150個位封かんできる。

日立ステーブラによる封かんの利点

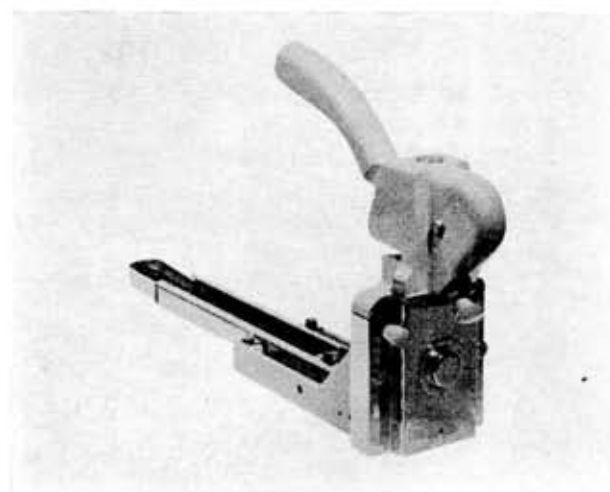
(1) 数倍の能率向上

従来の布粘着テープ、ガムテープ、紙バンドなどのこん包に比べ数倍の能率が上がる。特に液れ作業には絶対である。

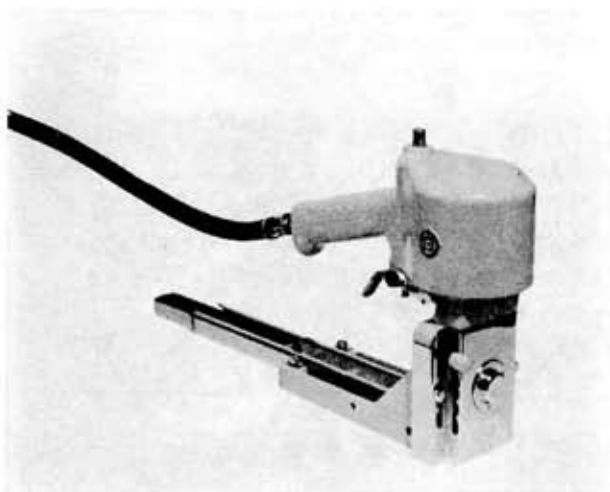
(2) こん包費の大幅削減

材料費は他のこん包に比べて割安であり、こん包作業の能率向上による作業費の削減と合わせると、相当大幅なコストダウンができる。

(3) 誰でもどこでもこん包できる



第10図 ハンドステーブラ



第11図 エアーステーブラ

仕 様

項目	品名	エアーステーブラ	ハンドステーブラ
メーターサイズ		35mm×15mm	35mm×15mm
ステーブル組込本数		100本	100本
爪の(ステーブルを折曲げる爪)破込深さ調節		5段階 複両面、段ボール重ね合せまで	5段階 複両面、段ボール重ね合せまで
ステーブル縁付具台調節		任意(段階なし)	任意(段階なし)
標準使用空気圧力		4 kg/cm ²	—
1本のステーブルを打つための所要空気量		約3.1 (大気状態にて)	—
ベピコンと組合せたときの能力		200W スーパーベピコン 毎分9本	—
		400W ベピコン 毎分15本	—
ホース接続方式		PS1/4	—
付属品		ホースジョイント 1個 蝶ネジ 1個 内径6.0mmホース用 抜針器 1個 ステーブル 100本	抜針器 1個 ステーブル 100本
外形寸法		高さ 220 幅 92 長さ 435mm	高さ 235 幅 92 長さ 460mm
製品重量		3.0 kg	2.1 kg

取扱いはいたって容易、誰もがいますぐこん包の熟練者になれる。持運びが簡単なのでどこでもこん包作業ができる。

(4) 強くより安全なこん包になる